

# 記録

## 令和4年度 第3回 道明寺南小学校 学校運営協議会

参加者 委員：藤本、森、南坊城、丸山、中島、中村、高橋（所長）、阪上、高橋（教頭）  
事務局：生涯学習課（木村、中川、比嘉） 学校教育課（中川、山口）

### 1. はじめに

#### (1) 事務局より

連絡なし

#### (2) 会長より

協議会を重ねるごとに内容もまとまってきた。これをもとに、今後もこの会を充実させていきたい。

よろしく願いしたい。

#### (3) 校長より

3月9日実施のげんき広場の報告。1～5年生は外遊び、6年生は革細工体験。生き生きとした子どもの笑顔。ボランティアのおかげ。今後もこの体制を維持していただけたらありがたい。

### 2. 協議

#### (1) 議事録作成について

書記（今年度は教頭）が担当することを確認

#### (2) 第2回議事録の確認

内容についてはこれでいいが、標記について協議。

⇒ 今後は要点のみを簡潔にまとめる。協議内容については発言者の記名も記録する。

#### (3) 元気広場の報告

中島：生涯学習課の協力の下で実施。323人中172人が参加。これだけ子どもの願いがあったことを実感。今後（令和5年度）は、月に2、3回を目標に実施できればと考えている。

今後の活動のため、また協議会の活動の紹介や委員の顔が分かるように、玄関ホールにコルクボードを設置した。

阪上：人数が想定よりも多かった。安全のため人の整理等の反省点も含め、次年度以降進めたい。

藤本：学校はスタッフの募集体制を整える必要がある。

#### (4) 令和5年度学校運営方針の承認

阪上：ポイントを絞り運営方針を説明（別紙参照）

藤本：方針に具体的な取組みを記載し、数値化して結果を示してほしい。そこで出た課題がまた次の方針や取組みにつながっていく。

南坊城：方針のもと、具体化していくのは各学年の先生が行うため、方向性だけでよい。

丸山：方針には多くの要素が入っているため、課題を明確にすることが大切。特に重要なポイント

トとなる根がしっかり反映されているとよい。せっかく運営協議会で「道南っ子の声」を聞いたのだから、例えば「SOSが いえる居場所づくり」のような副題が入っているといいと思う。

⇒各委員の意見を踏まえ、運営方針を承認。校長は退職のため、次年度の校長に方針を引き継ぐ。新しく赴任した校長が新たな方針や変更の提案がある場合は、4月に改めてその部分のみ協議する。

#### (5) アンケートを受けて今後の取り組みの検討

教頭:アンケートをもとに説明。

中島:やりたいことがないと回答している子に対して、気持ちを引き出したい。

中村:幼稚園の園児にもいろんな思いが聞けた(歌が上手になりたい等)。自分の願いを隣の小学校につなげたことで、5年生に直接教えてもらえる交流につながった。

高橋:保育所も場所は離れているけれど、今学期やっと交流できてすごく子どもたちは充実していた。つながりを大事にしていけたらありがたい。

中島:1年生の時に6年生の児童に教えてもらったことは今でも覚えている。今回のアンケートも、例えばたてわりで活用できないか。子どもどうしてできることがあるかもしれない。

藤本:高学年はどうするのか。高学年の願いの内容によっては、我々協議会の出番。色々なところとつなげる活動ができればいい。

教頭:子どもの実態として、これまで教員や地域の方々によって支えられ、様々な取組みに意欲的だが、自ら発信する力(やりたい事への意欲や行動力)に課題がある。

丸山:せっかくとったアンケートは、何らかの形できちんと子どもに返していく。保護者にもアンケートをとり、サポーターを募る。

⇒既存の元気広場を広げる。(学習・遊びなど)子どもどうしが関わる取組みにしていく。

#### (6) 評価項目について

藤本:次回(次年度初回)に検討、協議。それまで各委員で資料を確認しておく。

### 3. おわりに(事務連絡含む)

・次回の予定 令和5年4月18日(火) 18:00 ~ 20:00